

令和元年度 学校評価

【学生による授業評価、臨地実習評価】

令和元年度の学生からの評価は以下のとおりでした。

<評価> とてもそう思う 4、 そう思う 3、 そう思わない 2、 全くそう思わない 1

講義について

(1・2年生の講義において専任教員が評価を得ることができた教科目の平均値)

評価項目	評価の平均値
自己の取り組み (努力した・協力して取り組んだ)	3.61
講義の内容 (内容が明確・分かり易い・工夫がある など)	3.59
講義の進め方 (時間配分・話し方 など)	3.61
講義全体 (興味を持てた・学習目標が達成できた)	3.57

臨地実習について (2年生の領域実習すべての平均値)

評価項目	評価の平均値
自己の取り組み (努力した・協力して取り組んだ)	3.50
実習方法 (必要な体験ができた・オリエンテーションが役に立った など)	3.57
教員のかかわり (適切な指導を受けた・指導方法は適切であった など)	3.68
実習環境 (教員と指導者の連携・学習環境 など)	3.61
実習全体 (充実した実習だった)	3.56

【令和元年度 学校関係者評価委員会からの意見】

令和元年度の当校の自己評価結果をもとに、学校関係者評価委員会を開催し、以下のような意見を得ました。

- 1 准看護師養成所の卒業生が減少しているため、入学生数の減少が認められるが、令和元年度の卒業生全員が県内就職しており、県内の看護師確保に貢献している。
- 2 授業評価、実習評価については、学校内で統一した方法で行い結果を学校として共有できている。今後も継続するとよい。
- 3 学校運営の重点項目をあげて取り組み確実に評価していることで、教育機関としての役割を果たしている。